

QOL

Quality
Of
Life

QOL
サポーター
新潟

47

2018年9月14日発行
新潟医療福祉大学広報委員会編集



7月、8月、9月の計4日間にわたり「夏のオープンキャンパス2018」が開催されました。県内外から約5,100名の方々にご来場いただき、大盛況で終えることができました。

- Index
- 特集「実践力を磨く、新たな実習環境」
 - 基礎ゼミ 活動・交流会報告
 - 新潟医療福祉大学附属「インターナショナルこども園」& 学生寮「N-Village伍桃」OPEN!
 - 活躍する卒業生の職場レポート
 - CAMPUS NEWS
 - 「私立大学研究ブランディング事業」報告
 - 第18回伍桃祭(大学祭)案内
 - 大学院からのお知らせ



新潟医療福祉大学



特集

メディカルイメージングセンター、メディカル

実践力を磨く、新たな実習

メディカルイメージングセンター

診療放射線学科

最新鋭の画像診断機器を備えた実習施設

診療放射線学科では、学生の臨床実習前教育および教員・学生の臨床研究、また地域の医療機関との連携を目的に、最新鋭の画像診断機器などを多数揃える『メディカルイメージングセンター』を設置しました。学生は、診療放射線技師としての実践的な臨床教育を受けるとともに、地域医療や救急医療における実践力と多職種連携や問題解決力を身につけます。



MRI室

全国でも導入例の少ない3テスラの高磁場MRI装置を設置しています。MRI装置は、放射線の影響なく検査を行うことができる医療機器で、磁場と電波を利用して臓器や血管の画像を撮像することで、早期発見や診断に繋げることができます。



読影室

最新の医用画像表示モニタを25台設置しています。学生は一人1台のモニタを使用しながら、MRI検査やX線CT検査などの各種検査の医用画像を観察し、異常所見を指摘する力を身につけます。



X線CT室

X線とコンピュータにより身体の内部構造を画像化するX線CT検査装置を設置しています。がんなどの病気や脳内の出血などの症状を発見するための撮影技術を学ぶと共に、画像の精度管理などについて学びます。

その他

X線TV室 / X線撮影室 / 超音波室 など

診断の根拠となる質の高い画像情報を目指して

診療放射線学科では、学生の臨床実習前教育および学生・教員の臨床研究、また地域の医療機関との連携を目的に、3テスラの高磁場MRI装置など最新鋭の画像診断機器を多数備えている「メディカルイメージングセンター」を設置しています。学生は診療放射線技師として臨床現場で必要となる実践教育を受けるとともに、地域医療や救急医療などで必要とされる高度な実践能力と多職種連携による問題解決力を身につけることができます。また、実際の医療機関で使用されている医用画像表示用モニタを設置した読影室をメディカルイメージングセンター内に設置しています。

診療放射線技師は、医師の診断の根拠となる質の高い画像情報を作成するとともに、異常所見を検出できる能力が必要です。実際の臨床現場では、限られた時間の中で医師と患者さんの意図をくみ取り、迅速に且つ最適な画像情報を提供するための技術が必要になります。これら能力は簡単には身につけませんので、本学科では、臨床実習前教育の多くをメディカルイメージングセンターにて実施し、様々な画像診断機器から得られる多数の臨床画像を作成・読影するとともに、診断の根拠となる質の高い画像情報を医師へ提供できる臨床実践力を養うことに力を入れています。さらに、臨床実習前教育における学生の状況に則したコミュニケーション教育を行うことで、患者さんや他の医療専門職の意図をくみ取り、より質の高い画像情報を作成できるよう努めます。



診療放射線学科
教授 児玉 直樹

シミュレーション教育センター新設!

環境

2018年4月に新設した診療放射線学科の施設にメディカルイメージングセンター、また看護学科には新たにメディカルシミュレーション教育センターが設置されました。この度、それぞれのセンターの特色や果たす役割についてお伺いしました。

メディカルシミュレーション教育センター

看護学科

高性能シミュレーターで看護実践力を磨く

コンピュータ制御により、小児・成人・妊婦などの対象別の特徴や体温・呼吸・脈・心拍などのバイタルサイン(生命兆候)を意図的に再現できる高性能シミュレーターを設置しています。学生は、これらのシミュレーターが再現する様々な症状に対する必要な看護を考え、繰り返し実践することで、判断力を養い対象者に合わせた看護実践力を学びます。また、録画・録音が可能なため、学生は振り返り学習を行い、自らの課題を確認し、必要な知識・技術を磨くことができます。



成人

最も高性能な成人患者ロボット『Sim Man3G』を使った演習が可能です。リアルな生体反応を設定できるため、学生は疾患や病状に応じて様々なケアを体験でき、患者の変化する状況を判断する力や適切な対処法を学ぶことができます。



母性

妊娠から分娩、産後まで過ごせるLDR(陣痛・分娩・回復室)という部屋で、妊産婦と新生児のケアのあらゆるシーンを体験できます。『Sim Mom』には自動分娩システムが搭載されており、助産師を目指す学生は分娩助産法など高度な技術も学べます。



小児

乳児『Sim Baby』と幼児『Sim Junior』を使った看護が体験できます。子どもは治療・処置に対して暴れたり泣いたりすることが多いため、家族の協力を得ながら子どもの観察と侵襲を和らげるケアの方法について学びます。

センター設置の背景と今後の展望

医療におけるシミュレーション教育は、医療事故防止のための医学トレーニングとして米国で最初に取り入れられました。また、2011年、WHO(世界保健機関)による患者安全教育のカリキュラム指針の中に、「学生が現場に出る前にシミュレーション学習を通して患者安全について考える機会を持つよう」明示されたことで、シミュレーション教育が医学や看護教育の中で広がっていきました。

本学でも2018年の学部改組に伴い看護学科が看護学部となると同時に、「メディカルシミュレーション教育センター」を新設しました。成人、母性、小児の3つの各シミュレーション室は病室を想定していますが、家具や器具の配置を変えることにより、外来診察室や救急外来、ICU(集中治療室)などにも設定できます。母性ではLDRとして妊婦検診の診察室から陣痛室、分娩室、褥室と妊娠から出産までの各期を学べ、特に自動分娩システムによりあらゆる異常分娩をシミュレーションした学習が可能となり、実践力の強化を図ります。

センターは看護学科だけでなく、合同カンファレンスや病室訪問ケアなど、13学科すべてが連携して演習できる多職種連携シミュレーション教育を行う場としても想定しています。また、学内のみならず実習病院での新人教育や現任教育に利用可能です。さらに、メディカルシミュレーション教育センターには看護研究の拠点となる「看護実践研究センター」も併設しており、今後、地域の保健医療福祉を支える看護職と、協働するすべての専門職の技術研修と実践力向上のための活動拠点として貢献できることを目指しています。



看護学科

教授 松井 由美子

基礎ゼミ



01 私がゼミ活動で得たもの

理学療法学科 1年 本間 圭太



ゼミ活動では、食事会などの交流会や小旅行、そしてゼミごとで決めたテーマについての発表会がありました。食事会では、ゼミのメンバーと打ち解けることができたので、その後の発表会の作業も円滑に進めることができました。また発表に向けたパワーポイント作りでは、慣れない作業で息詰まることもありましたが、仲間とうまく役割を分担することにより、無事に発表を成功させることがで

きました。また、交流会では、ゼミ対抗バレーボール大会や同じゼミの2年生との顔合わせ会を行い、メンバーの知らない一面を見つけたり、先輩から大学生活で役に立つ情報を聞いたりでき、とても充実した機会となりました。

これらの活動を通して、136人もいる同学年の中で交流がなかった人たちと友だちになることができて良かったです。活動を通じて得た経験と自信を、この先の大学生活に活かしていきたいです。

02 成長への第一歩

作業療法学科 1年 下條 里桜



私たち作業療法学科の基礎ゼミでは、ゼミ対抗Instagramコンテストを行いました。お題に沿って、ゼミの仲間とどのような写真にするか話し合いながら進めました。

基礎ゼミに参加し、意見・アイデアを自分から発信していくことを通して、自分自身の成長を感じています。自分の考えを伝えることをあまり得意としていませんでしたが、それでは自分のためにならないと思い積極

的に関わっていきました。同学年だけでなく、2年生・3年生の先輩たちにも協力してもらいながら、「いい写真」だと納得できる1枚ができあがるたびに、大きな達成感がありました。

“成長を感じている”と書きましたが、これではまだまだと感じる場面も多く、特に「人と人の間に踏み込むこと」が苦手だと実感しました。この経験を踏まえて、自分から積極的に動くことでさらに成長できるように学生生活を送りたいと思います。

03 支えてくれる人たちの大切さ

言語聴覚学科 1年 阿部 歩佳



私たちのゼミでは、言語聴覚学科の1年生を対象にアンケート調査を実施し、オープンキャンパスに来場された高校生の進路選択の参考となるようなポスターを作成しました。内容を考える時に高校生が実際に気になっていること、悩んでいることは何だろうと自分たちも高校生目線になることで、よりリアルな質問を考えることができました。アンケート集計にあたっては数え間違いなどがないように注意しまし

た。また、パワーポイントにまとめる作業ではどうやってグラフを作るのか、また質問内容に適したグラフをどう選べばいいのかなど様々な課題がありましたが、ゼミのメンバーの協力、また先生のアドバイスのおかげで最後までやり抜くことができました。これらを通して学んだことは、支えてくれる人たちの大切さです。お互いに助けあうことでより良いポスターを作ることができました。これからも助け合いの精神を大切に、ゼミの仲間と支え合いながら、言語聴覚士を目指して頑張っていきたいです。



基礎ゼミは、1年生の全学生を対象に行われる少人数制のゼミです。学生は7～8名程度のグループに分かれ、各グループを教員1名が担当します。ゼミでは、健康で充実した大学生活を送るための基本的な能力を育むことを目的に、大学での学習方法や心構えなどを指導します。また、ディスカッションを数多く取り入れ、友人づくりやコミュニケーションの場としても活用されます。

04 交流会で感じたこと

義肢装具自立支援学科 1年 杉田 梨音



義肢装具自立支援学科の基礎ゼミでは、医療・福祉分野での調べ学習をゼミごとに行い、発表するという活動を行っています。テーマに沿って調べた情報を一人ひとりが持ち寄り、話し合っってパワーポイントや原稿を完成させます。メンバー同士の仲も深まり、学んだ知識は自分の力になるため、とても有意義な活動です。また、学習だけでなくいくつかのイベントもあります。今年にはバーベキューやゼミ対抗のバレーボール大会などがありまし

た。バーベキューでは、先輩や先生を交えて美味しいお肉を食べるのはもちろん、大学生活について色々教えてくださいました。悩みや不安が解消され、安心してその後の大学生活を送ることができ、本当にありがたかったです。

入学当初は人間関係や学習面で、たくさんの不安を抱えていましたが、基礎ゼミ活動を通して多くの友だちができ、色々なことを学ぶことができました。これからも少人数学科ならではの仲の良さを強みに、困難を乗り越えながら成長していきたいと思います。

05 目標を見つめ直す

臨床技術学科 1年 熊谷 栄一郎



私たちのゼミでは活動の一環で、大学・学科に関することで自ら気になったことをテーマとして調べて発表を行いました。ゼミでは2チームに分かれて、私のチームではダブルライセンスを持つ意義について調べました。臨床技術学科では臨床工学技士と臨床検査技師の2つの資格を有する臨床技術者の育成を方針としています。それぞれの職業についてどんなことをするのかはある程度知っていましたが、2つの資格を有するこ

とで、どんな意義が生じるのか具体的には知りませんでした。今回の活動の中で、ダブルライセンスのメリットや将来性などについてまとめ、考えることを通して、資格を取得した後の立場や、今後の可能性について具体的なイメージをつかむことができました。また、将来像を明確にできたことで、この学科で何を学び、何をしたいのかという目標を見つめ直す良い機会となり、2つの資格を必ず取るという思いがさらに強くなりました。基礎ゼミで感じたことを忘れずに、今後も精一杯学んでいきたいです。

06 興味のあることを探求する

視機能科学科 1年 瀬野 航宙



私たちは基礎ゼミのグループワークを通じて、色と食欲の関係について調べました。普段から食欲は色と密接な関係があることや、暖色だと食欲が増え、寒色では食欲が減ることは何となく知っていました。しかしそれは本当なのか疑問に思い、検証することにしました。今回私たちは食紅で色を付けたお米を見たときの唾液を採取して、食欲を唾液アミラーゼという濃度で評価しました。

その結果、私たちの予想に反して暖色よりも寒色の方が食欲が増えるということが分かりました。その結果について考えてみると、過去に行われた検証との年齢層や満腹状態、評価の手法に違いがあることに気づきました。今回のグループワークを通じて、検証する際の計画性や下調べも大事であることを強く感じました。今後行われる連携科目では、今回の結果や考察を踏まえながら、他学科の学生ともう一度調べてみたいと思いました。

04 義肢装具自立支援学科



自然の中でのバーベキュー

05 臨床技術学科



ソフトバレーボール大会・ゼミメンバー

06 視機能科学科



色と食欲の関係を調べます!

07 協同することからの学び

救急救命学科 1年 小泉 千秋



救急救命学科は消防機関や救急医療、警察などについてどれか1つテーマを決め、ゼミ班でまとめ、発表し合いました。

私の班は警察について調べました。調べようと思った理由は、学科内に警察志望の友人がいるため、警察についての理解や関心を皆に知ってもらいたかったからです。調べ学習では、事前に分担した内容について図書館やインターネットを有効に活用し調べ、ゼミの仲間に

伝えたり、アドバイスをもらったりと活発に意見交換することができ、充実した時間を過ごすことができました。今までは自分の意見を伝えることが苦手でしたが、真剣に聞いて一緒に考えてくれる仲間の姿がとても嬉しく、積極的に意見を述べることができました。

この活動を通して、周りの人と協力し合うことでより有意義な時間にできると感じました。そして、今後は私も仲間にしてもらったように、人の意見を尊重し考えながら、活動していきたいと思えます。

08 生徒から学生への“第一歩”

診療放射線学科 1年 原田 龍斗



基礎ゼミは、生徒から学生への第一歩を踏むことができた貴重な機会であったと感じました。入学当初は大学生活、勉強の方法やレポートの書き方など高校生活と異なることに戸惑いがありました。しかし基礎ゼミで“大学生とは”や“なぜ大学はレポートが多いのか”という講義をしていただき、高校と大学の違いなどを改めて認識することができました。基礎ゼミを通じて“生徒”から“学生”へ進化できたと感じています。また私は、ゼミ長と

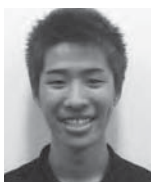
学年代表を務めさせていただき、基礎ゼミ生や学年全体とのコミュニケーションをとり、まとめるという大変さを学ぶことができました。

基礎ゼミの特別講義として、いろいろな物をX線またはMRI装置を使って写真を撮る実習がありました。ただX線写真を撮るのではなく、写真を加工して見えやすくする方法や3D画像を作る方法を見せていただき、診療放射線技師への関心がさらに高まりました。

基礎ゼミで得た経験を活かし、今後の学生生活をさらに充実させていきたいです。

09 十人十色のお弁当で交流を

健康栄養学科 1年 田中 稀一郎



健康栄養学科では、日頃から人の体と栄養の関係性などを学んでおり、将来、管理栄養士として活躍するために日々勉強しています。基礎ゼミでは、そんな私たちが大学生活を始める第一歩として、学科内での交流を深めています。今年度は「お弁当の日」と題して、一人一種類以上を自分で調理し、持ち寄る交流会を行いました。この交流会では普段の調理実習では見るこ

ができないそれぞれの技術やアイデアが見られ、互いの料理を食べて楽しむだけではなく、仲間のお弁当の創意工夫を目の当たりにし、たくさんの刺激を受けることができました。普段の授業と違い、お弁当を食べながらリラックスして仲間や先生と多く話す機会を持つことができました。4年後に学科全員が管理栄養士の国家試験合格という目標に向けて絆を深め、より一層団結力を強めることができた交流会となりました。

10 基礎ゼミの交流会で学んだこと

健康スポーツ学科 1年 齋藤 吏澄



健康スポーツ学科では、基礎ゼミの教員学生交流会としてソフトバレーボールを行いました。この活動を通して感じたことが2つあります。1つ目は、基礎ゼミ内の仲間の繋がりが強まったことです。基礎ゼミの仲間同士であまり話をするのがなかったため、協力してできるか少し不安でしたが、声を掛け合ってパスをつないだり、仲間のミスをカバーし合ったりなど、練習や試合を通じ

てお互いに協力し合うことができました。

2つ目は、学科の同級生との関わりです。活動の中で、話したことがない人と話すことができたり、普段は関わらない人と真剣に勝負をしたりと良い機会となりました。私たちのゼミは1回戦で負けてしまいましたが、この活動をきっかけに団結力が生まれました。これから色々な活動があると思いますが、仲間と協力し、卒業まで多くの人と関わり合いながら自分自身も成長していきたいです。

11 ボランティア活動で得たこと

看護学科 1年 椎谷 春輝



私たちのゼミでは、グループホームでボランティアを行いました。まずボランティアについてや、その歴史、留意点などを調べ、発表しました。そしてどのような介護度の方が多くか調べ、レクリエーション内容を検討し、施設の方と実際に実現できるかを相談しました。具体的には高齢者の方が手を動かしたり、頭を使ったりするゲームや歌です。私たちなりに計画を練って臨んだボランティアでしたが、実際

にやってみると進行がうまくいかないなど、想像以上に大変でした。しかし、終了後には「長生きのもとになった」など利用者の方から声をかけていただき、達成感を味わうこともできました。さらに高齢者の方とコミュニケーションをとる上で、大きな声でゆっくり話すことの重要性を再認識することができました。このように私たちは、利用者の方のために行った活動でしたが、自分たちも大きな収穫が得られ、今後に活かすことができる機会となりました。

12 社会福祉士になるための学び

社会福祉学科 1年 田村 英士



基礎ゼミでは、少人数のグループに分かれて、スポーツやレクリエーションなどのアクティビティを行いました。アクティビティを通してコミュニケーションをとり、協働で取り組む力を高めることができました。

また、実際に福祉の現場に出向きました。私は、地域活動センタードリームカレッジを訪問し、利用者の方々と一緒に活動する体験をしました。

事前の学習でイメージしていたことと、実際の現場で体験したことは全く違いました。直接利用者の方々と関わり、体験的に学ぶことの意義を知ることができました。

基礎ゼミの活動では、面識のない人とコミュニケーションをとったり、ゼミのメンバーと共同で作業を行い、自分の意見を上手く伝えないといけない時もあります。そのため、基礎ゼミの活動は、社会福祉士を目指すにあたってとても大切な時間だと感じています。ゼミの活動で身につけた力を今後活かしていきたいと思います。

13 学科内の絆の深まり

医療情報管理学科 1年 小林 大翔



医療情報管理学科の基礎ゼミ交流会では、バレーボール大会を行いました。私はこの交流会で実行委員長を務め、多くのことを学ぶことができました。

まず基礎ゼミ交流会の本番の前にプレ大会を2回開催し、本番を含めて計3回バレーボール大会を開催しました。私は実行委員長なので、「開会式や閉会式はどうするのか」、「試合の時間配分はどうするのか」、「性別や運動能力を問わず全員が楽しめるルールはどうするのか」、など大会運営を

通して様々な裏方の仕事の大切さを学ぶことができました。

そして普段は学科内でも友達以外とはあまり話す機会がなかったのですが、初対面の学生にも積極的に話しかけるよう心がけ、色々な学生と交流することができました。基礎ゼミ交流会のおかげで、学科内の繋がりがとても強くなったと感じました。

今後もこのような活動の企画や運営を行い、他学科も含めて多くの学生と関わり、大学全体を盛り上げていきたいです！

07 救急救命学科



調べ学習の様子

08 診療放射線学科



装置の操作のお手本

09 健康栄養学科



お弁当の日

10 健康スポーツ学科



繋がりが強まったバレーボール大会

11 看護学科



ボランティアの内容を検討中!

12 社会福祉学科



基礎ゼミの仲間たち!

13 医療情報管理学科



学科全員でピース!

新潟医療福祉大学附属

『インターナショナルこども園』OPEN!

2018年4月に新潟医療福祉大学附属インターナショナルこども園が開園しました。当園では地域社会の子育てを支援すること、外国人講師を配置することで、幼少期から日常的に英語に触れ、英語でのコミュニケーションの楽しさを身につけさせることを目的としています。

■保育園施設概要

対象年齢 生後6ヶ月～3歳児
開園時間 午前7時30分～午後7時00分
※開園日は「新潟医療福祉大学教職員年間予定表」で定める出勤日に準ずる。

■基本保育料

【本学教職員のお子様(従業員枠)】 月額39,000円
【地域にお住まいのお子様(地域枠)】 月額42,000円
【一時預かり】 保育料(1日)3,200円
※食事代・おやつ代を含む。(土・日・祝日は食事提供なし)

■デイリープログラム

時間	活動
7:30	順次登園、健康観察、検温、自由あそび
9:30	朝の会、健康観察
9:40	水分補給、排泄
10:00	カリキュラムに沿った保育(英語読み聞かせ、英語の歌等)
11:00	排泄、手洗い、昼食
12:30	着替え、排泄、午睡
14:30	目覚め、検温、着替え、排泄
15:00	おやつ
15:30	カリキュラムに沿った保育(英語読み聞かせ、英語の歌等) 自由あそび
18:30	順次降園
19:00	最終降園

※年齢や月齢によって時間が異なる場合があります



栗田園長からのメッセージ



インターナショナルこども園
園長 栗田 司

新潟医療福祉大学附属インターナショナルこども園では、毎日午前と午後計2回英語で「コミュニケーションタイム」を行い、英語を通して五感を刺激しています。特に、「聴く力」は0歳～3歳までに大きく成長をする「耳の黄金期」とも呼ばれています。この時期に聴いた英語は耳から脳までの発達を促し、第二言語として英語を獲得するのに大きく影響します。入園当初は子どもたちの泣き声が響いていた園舎も、今では笑い声がいっぱいの園舎となりました。また、特色として取り組んでいる英語コミュニケーションも少しずつ慣れ始め、「yellow!!」など簡単な英語が子どもたちから聴こえてくるようになってきました。英語を通して子どもたちの夢が世界へ大きく広がっていくことが今から楽しみです。

また本園では大学生とのコラボ企画も実施しています。1つ目は健康スポーツ学科の学生との運動遊びです。毎週金曜日、体育館で学生と一緒にマット運動やボール遊びをしながら体を動かす気持ち良さを味わっています。2つ目は、園庭にあるさつまいも畑で園芸部が植えたさつまいもを秋と一緒に収穫します。子どもたち、大学生が共に成長できる笑顔いっぱいのキャンパスにしていきたいですね。

■入園に関する問い合わせ先

- ①新潟医療福祉大学附属インターナショナルこども園
TEL: 025-257-4004(内線1100)
- ②学校法人 新潟総合学園 総務部
TEL: 025-257-4455(内線2126)

大学から
徒歩7分

朝・夕食事付 学生寮『N-Village伍桃』が開寮!

2018年4月、キャンパスまで徒歩7分の立地に、学生寮『N-Village伍桃』が開寮。『N-Village伍桃』では、朝・夕2食の食事提供や管理人配置による万全なセキュリティ体制により、学生一人ひとりの安全・快適な暮らしを支えます。

住居棟

- 1フロア12室のシェアハウス方式
- 家具・家電付の6帖鍵付完全個室
- シェアスペースにミーティングルーム1室および、洗面台、浴室、トイレ、洗濯機を複数完備

共用棟

- ICカード・防犯カメラ・24時間管理員常駐の安心のセキュリティ
- 1日の疲れを癒やす大浴場を完備
- 自由に利用できる多目的スペース

費用

- 賃料: ¥39,000/月額
- 管理費: ¥15,000/月額 ※水道光熱費を含む
- 食費: ¥18,000/月額
栄養バランスを考えた朝・夕の食事付

住居棟



共用棟



健康スポーツ学科3年
山城 昌一郎
沖縄県 那覇西高校出身

学生寮には多くの学生と関われるチャンスがあります。知らない人に話しかけるのは勇気がいるかもしれませんが、私にとって寮生は、同じ寮内で暮らしている「家族」です。学生寮で生活し数ヶ月が経ちましたが、複数の学科の友人を作ることができ自分の価値観を広げることができました。私は強化指定クラブの水泳部に所属しているため毎日夜遅くまで練習がありますが、大学が近いので時間を有効に使うことができます。寮に住むようになり、以前よりも充実したキャンパスライフを送れて嬉しく思います。

卒業生
レポート
FileNo
01

専門領域に特化した 理学療法士になる



新潟リハビリテーション病院

理学療法士
井出 愛実さん

福島県 日本大学東北高校出身
理学療法学科
2017年3月卒業

▶ 現在の仕事内容について教えてください。

私は理学療法士として新潟リハビリテーション病院に勤務し、一般病棟で整形外科や内科疾患、脳卒中維持期の患者様を中心に担当しています。また、入院されている患者様だけでなく、介護予防の一環として、転倒予防や運動の指導も行っています。臨床現場では分からないことが多くありますが、先輩方から多くのことを教えていただきながら充実した業務を行っています。また、病院に勤務しながら新潟医療福祉大学大学院に在籍し、ウイメンズヘルス分野の研究を行っています。

▶ 理学療法士として大切にしていることは何ですか？

大切にしていることは、患者様のニーズに答えることだけでなく、理学療法士の視点から、患者様のより良い生活支援のためのアプローチを行うことです。機能の回復を目指すだけでなく、患者様の今後の人生がその方らしい生活を送れるように患者様の家族を含め、運動継続指導や生活指導などを特に意識して行っています。これらを行うことで退院後でもアプローチしていたことが長く生きてくるのではないかと考えています。

▶ これから理学療法士を目指す高校生や在学生へメッセージをお願いします。

理学療法士は、患者様の達成感を間近で分かち合うことができる職業です。その分、責任やプレッシャーが伴い辛いことも多々ありますが、それ以上にやりがいのある仕事です。私は勉強が得意な方ではなく最初は苦手意識もありましたが、学べば学ぶほど理学療法士は素晴らしいと感じています。今は大変かもしれませんが、本学に入学し、理学療法士の良さを知っていただけたら嬉しいです。



卒業生
レポート
FileNo
02

視覚の専門家として 人を助ける仕事がしたい

井出眼科病院

視能訓練士
安孫子 耀さん

山形県 寒河江高校出身
視機能科学科
2017年3月卒業



▶ 現在の仕事内容について教えてください。

眼科専門病棟の視能訓練士として視力や視野などの眼科一般検査を全般的に行っています。また、患者様が使用する眼鏡の度数選定や保育園や小学校に向向いて眼科健診を行うこともあります。視能訓練士は小さな子どもから高齢の方に至るまで幅広い年齢層の患者様の対応をします。特に子どもは検査に対して飽きやすいため、正確で素早い検査をすることが大事です。そのため最後まで楽しんで検査を受けてもらった時はとても嬉しいです。また、医師の診察時間に比べると視能訓練士が担当する検査の時間は長く、患者様から色々とお話を聞くことがあります。そんな中で患者様から感謝の言葉をいただいた時にはとてもやりがいを感じます。

▶ 視能訓練士を志したきっかけについて教えてください。

私は、以前から人の役に立つ仕事がしたいと思っていましたが、高校生まで視能訓練士という職業を知りませんでした。しかし、祖母が白内障の手術を受けたことをきっかけに、眼科で働く視能訓練士を知りました。視覚は私たちの生活にとって必要不可欠であり、眼科分野に携われることは多くの人の役に立つことができると思い、視能訓練士を目指しました。そして今、患者様一人ひとりの見え方やその悩みを少しでも理解して、助けになってあげられる視能訓練士になれるよう、日々努力しています。

▶ 本学ではどのようなことを学びましたか？

また、それは現在の仕事にどのように活かされていますか？

大学では眼科一般検査の手技や訓練に関することはもちろん、視覚障がいをお持ちの方に対する誘導の仕方を実践的に学びました。実際に視覚障がいをシミュレーションで経験し、初めて見えないことの不安や歩きにくさを理解しました。改めて、患者様を誘導するときには、カルテから視覚面や体の状態などを把握したうえで、誘導や声掛けに気を付けなければいけないことを学ぶことができました。この経験は今も現場で活かされています。

▶ 本学を一言で表すとしたら何になりますか？

「自分で考え、行動する力を身につけられたところ」

視機能科学科の実習科目では毎週レポートが課せられます。私たちは一期生ということもあり、レポートの書き方を先輩に相談することもできない中、友人同士で得たデータについて文献調査し、試行錯誤しながら作成することで考察力を鍛えることができました。今の職場では気になる検査結果があればその都度調べることが習慣になり、学生時代に自ら考え行動した経験が今に活かされています。

第18回新潟医療福祉学会 学術集会のご案内

今年度の学術集会は、大会テーマを『世界に輝く日本の科学力・技術力』とし、特別講演やシンポジウムなどのプログラムをご用意しています。参加は無料で、事前申し込みも必要ありません。多数の方々のご来場お待ちしております。

日時:2018年10月27日(土)

会場:新潟医療福祉大学

大会長:前田 史篤 (新潟医療福祉大学 医療技術学部 視機能科学科 学科長/教授)

●特別講演

「多職種協働スタイルが生み出す人工知能とビッグデータ応用」
講師:田淵 仁志先生(ツカザキ病院眼科 主任部長)

●シンポジウム

「世界に輝く国際活動」

座長:松井 由美子 (新潟医療福祉大学 看護学科 教授)

村田 憲章 (新潟医療福祉大学 視機能科学科 講師)

医療福祉系大学初! スポーツ庁より『平成30年度 大学スポーツ振興の推進事業』を受託



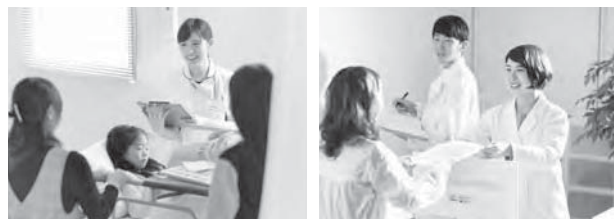
スポーツ庁は、「大学横断的かつ競技横断的統括組織(日本版NCAA)創設事業(大学スポーツ振興の推進)」を委託する大学15校を発表し、そのうち新たに委託された大学は9校で、本学も採択校となりました。

本学では、2016年度より設置しているスポーツ振興室が大学スポーツ分野の統括業務を担当し、ブランド力向上に向けた施策立案やコンプライアンス遵守、安全対策に取り組んでいます。さらに2018年度から学校法人新潟総合学園スポーツ推進室に大学スポーツアドミニストレーターを配置し、学内外の調整を行っています。

今回の委託事業の公募に際し、地域と大学が連携・協働・共創する場を作り、共にQOLを向上させることを目的とした「スポーツ教室の質の向上」「スポーツ障害予防フォーラムの実施」「アルビレックスグループと連携した人材の育成」「障害者スポーツのさらなる振興」を提案し、今回その有益性や将来性が認められ、医療福祉系大学では初めて、大学スポーツ振興の推進事業を受託するという運びとなりました。

また、本学の「スポーツ×医療×福祉×保健」を学べる総合大学という特色を活かし、障害者スポーツの振興、地域へのスポーツ振興、スポーツ人材の育成、アスリートのキャリア形成支援、スポーツリハビリの発展等、既存の取り組みをさらに発展・拡大させ、新潟県内における健康およびスポーツの各分野・各競技のハブ的役割を担うことで、健康・スポーツに関わる学問領域を進化させることを目指しています。

学部系統別実就職率ランキング 【社会福祉学科 全国第1位】、 【医療情報管理学科 全国第4位】を達成!



この度、「学部系統別実就職率ランキング(サンデー毎日2018.8.12号)〈大学通信調べ〉」にて、社会福祉学部社会福祉学科が【福祉系】ランキングで全国第1位にランクイン、また、医療経営管理学部医療情報管理学科が【商・経営系】ランキングで全国第4位にランクインしました。

本学では、今後も学年進行に応じた就職指導プログラムのもと、就職センターをはじめ全学をあげた組織的な就職支援を実践し【資格・就職に強い大学】として、全学生の夢の実現に向けてサポートして参ります。

『NUHW ParaTFC』参加者3名が 新潟県障害者スポーツ大会に 義足ランナーとして出場!

5月13日(日)にデンカビックスワンスタジアムで開催された「第19回新潟県障害者スポーツ大会」に、本学で開催している「NUHW ParaTFC(障害者陸上教室)」に参加し練習を続けてきた3名(大腿切断者、うち教員1名)が義足ランナーとして出場しました。

出場した3名がスポーツ用義足での練習を始めたのは昨年7月。走れるようになるまで、かなりの時間を要しましたが、全員が自己記録を更新する素晴らしい成績を収めました。

今回の義足の取り付けおよび調整は教員を含む義肢装具士が行い、準備体操・アップ・身のまわりのフォローを本学学生がサポートしました。今後は、より多くの学科と連携していけるよう本活動を進めて参ります。



『NUHW ParaTFC (新潟医療福祉大学 障害者陸上教室)』とは

この教室は、月に1度本学の屋内走路で開催され、義足使用者に対して部品の貸し出しやランニング指導、グラウンドの提供を行っています。また、本学学生がスポーツ義肢と身近に接し、現場に近い感覚を肌で感じられる教育面での利点に加え、他業種との連携、新潟県障害者スポーツの発展と障害者スポーツに関する研究も行える場となっています。スポーツ用義足の無料貸し出しも実施しています。興味のある方はぜひご参加ください。

理学療法学科 地域の健康体操講座開催!

理学療法学科ヘルスプロモーションLabでは、地域の行政と協力し、高齢者の身体機能の改善を目的とした運動介入を行っています。6月9日(土)には木崎コミュニティセンターホールで開催された「平成30年度『健康体操講座』」では、理学療法学科古西教授が第1回の講師を務め、多くの地域の方々にご参加いただきました。

当日は理学療法学科の学生も、参加者の体調の確認や血圧測定などのサポートのために参加しました。また、体操やゲームなどを通じて参加者との交流を深め、ロコモティブ症候群予防のため運動習慣が重要であるというメッセージを、学生の力を借りて参加者に伝えることができた活動となりました。

理学療法学科では、このように学内での学習に加えて、地域の高齢者の人たちとの関わりを通して、実践的な知識や技術の習得を行っています。



全日本大学駅伝 男子初出場!女子7年連続出場決定!

7月21日(土)、新潟市のデンカビッグスワンスタジアムにて行われた「第50回全日本大学駅伝対校選手権記念大会 北信越地区選考会」において、本学陸上競技部男子中長距離チームが初優勝を果たし、11月4日(日)に愛知県・三重県で開催される本大会への初出場が決定しました。また、「第36回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 北信越地区選考会」において、同女子中長距離チームが7年連続7回目の優勝を果たし、10月28日(日)に仙台市で開催される本大会への出場が決定し、男女揃って本大会出場を勝ち取ることができました。

全国大会でも日頃の練習の成果を発揮できるよう、引き続きのご声援を宜しくお願いします。



「私立大学研究ブランディング事業」報告



文部科学省 平成29年度「私立大学研究ブランディング事業」選定

リハビリテーション科学とスポーツ科学の 融合による先端的研究拠点

—Sports&Health for All in Niigata—

キックオフシンポジウム開催!

7月28日(土)、SHAINプロジェクト*のキックオフシンポジウムが本学にて開催されました。当日は、事業紹介をはじめ、「東京オリパラ」をテーマとしたゲスト講演なども実施され、200名を超える参加者のもと大盛況にて終了することができました。

キックオフシンポジウム ゲスト講演

「2020年東京オリパラに向けて」

講師：平田 竹男氏(早稲田大学大学院スポーツ科学研究科教授/内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局長)

「今後のスポーツ分野における理学療法士の役割」

講師：玉置 龍也氏(東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会)



江玉 睦明准教授 FCバルセロナ主催のカンファレンスに日本人唯一のゲスト講演者として招待!

SHAINプロジェクト*の研究メンバーのひとり、江玉 睦明准教授(理学療法学科、運動機能医科学研究所)が、世界屈指のサッカークラブである「FCバルセロナ」が主催するスポーツ医学カンファレンス「BARÇA SPORT MEDICINE CONFERENCE」に日本人唯一の講演者として招待されました。

10月8日・9日にスペインで開催されるこのカンファレンスには、世界各国から多くの研究者が集い、サッカーの傷害予防などに関する最新の知見が発信されます。

江玉准教授は「下腿三頭筋とアキレス腱障害」に関するテーマで講演する予定です。

SHAINプロジェクトでは、今後も特色ある研究活動を推進し、世界に発信していきます。



*文部科学省 平成29年度 私立大学研究ブランディング事業の選定プロジェクトの通称。スポーツ科学とリハビリテーション科学の融合により、「Sports & Health for All in Niigata (SHAIN) = 地域住民からアスリートまで全ての人が安全にスポーツを楽しみ、幸せな生涯を過ごす新潟県」の創出を目指します。

学友会

第18回伍桃祭(大学祭)案内

10/6^土
7^日

今年のテーマ

「千紫万紅」

新潟医療福祉大学は今年の春に18期生を迎え、それに合わせて本学の大学祭である伍桃祭も今年で18回目を迎えることができます。保健・医療・福祉・スポーツの多彩な全13学科からなる本学ですが、年を重ねるとにその連携が深まり、質の高い総合大学として進化しています。

18回目となる今年の伍桃祭は、「千紫万紅」というテーマで開催します。このテーマには『千を超す学生の華が秋空の下、色彩豊かに咲き誇る伍桃祭』という想いを込め決定しました。

ただしこのテーマの想いには、「万紅」にあたる部分がかかれていません。その理由としては、「秋の彩りよりも美しく楽しんだ表情を、千の学生を含んだ万の参加者全員がすること」を目標としているからです。

この目標達成のため、毎年恒例の模擬店をはじめ、クラブ&サークルによるバラエティ豊かなパフォーマンス、誰もが参加可能なビンゴ大会、豪華ゲストによるライブなど、ご来場頂く皆様が楽しめる企画を多数用意しております。ご友人やご家族をお誘い合わせの上、ご来場ください。

最後になりますが、伍桃祭は協賛を頂きました企業様や、お越しいただく皆様のおかげで成り立っています。今年も多くのご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

10月6日(土)・7日(日)の2日間、新潟医療福祉大学にて、多くの方のお越しを心からお待ちしております。

第18回伍桃祭実行委員兼学友会副会長 北畠 祐人

イベント案内(予定)

- 豪華ゲストによるライブ
- クラブ&サークルによる発表
- 模擬店
- ビンゴ大会
- 同窓会企画 など

このほかにも
交流イベントが満載です。
ぜひお越しください。



大学院

国際協力機構(JICA)× 新潟医療福祉大学大学院連携 青年海外協力隊等プログラム

JICAボランティアに参加しながら修士の学位取得が可能!

青年海外協力隊等JICAボランティアとして活動しながら同時に修士の学位取得を目指す、画期的なプログラムです。派遣国での活動中も教員の指導を受けることができ、任地での活動が大学院の単位の一部として認められます。国際協力現場での実践を通して、国際保健協力に関わる人材としての資質・能力を高めることを目的としています(派遣前、派遣中どちらの入学も可能です)。

2012年の開設以来、すでに14人の隊員が本プログラムに入学されました。



大学院冬のオープンキャンパスの ご案内

12月1日(土) 10:00~

- ◎ 教員・現役大学院生によるセミナー
- ◎ 大学院概要説明会・個別相談など

※オープンキャンパスの詳細情報については
大学院ホームページでご案内いたします。

URL <https://nuhw.ac.jp/grad/>

また、お問い合わせは大学院入試事務室まで
お願いいたします。

E-mail grnyuusi@nuhw.ac.jp

新潟医療福祉大学大学院
Twitterアカウント

@nuhw_gr



新潟医療福祉大学

〒950-3198 新潟市北区島見町1398番地
TEL 025-257-4455(代) FAX 025-257-4456
URL <http://www.nuhw.ac.jp/>
スマートフォンサイト <http://www.nuhw.ac.jp/sp/>
【入試事務室】TEL 025-257-4459
E-mail nyuusi@nuhw.ac.jp

誌名「QOLサポーター新潟」の由来

世界一の長寿国となった我が国では、「いのちの長さ」を伸ばすことと同様に、「生活の質、Quality of Life, QOL」を豊かにすることが、益々重要になっていきます。新潟医療福祉大学では障害者、高齢者などのQOLを高くすることを支援する(サポート)人材を育成します。このような人材を「QOLサポーター」と名づけました。そして皆様にも本学の内容、活動をお知らせする広報誌を「QOLサポーター新潟」としました。

